

平成 26 年度 第 1 回 在宅介護委員会会議報告

日程：5 月 20 日（火）

場所：薬国会議室

時間：19：30～

出席者：中川勝憲、河野吉昭、山下幸子、小田村元昭、永崎一樹、徳永修（順不同、敬称略）

欠席者：中村三喜雄

議題：●報告事項

- ・平成 26 年 4 月 1 日より、「在宅支援協力薬局」名簿を更新。「地域包括支援センター協力薬局」の名簿を佐世保市薬剤師会 HP に掲載。

- ・平成 26 年 5 月 18 日（日）：県在宅委員会

- 1) 九州山口薬学会ポスター発表の件

- ・「認知症の服薬管理（仮）」というテーマで、大村の先生が発表
- ・各地区から、データを集積してまとめる方式

- 2) クリーンベンチ配布・募集の件

- ・県に計画、予算を示しており、8 月頃に結果が解る
- ・通れば、クリーンベンチ：5 機（250,000 程度：自己負担は 1/2）：を導入できる
- ・募集は、手上げ式で全県に行く
- ・希望者に研修会を行い、その後、個々に事業計画を提出していただき選定する

- 3) フィジカルアセスメント研修会開催の件

- ・年度内に、4 回（7 月、8 月、12 月、2 月）の予定
- ・県薬で、フィジコを使い研修を行う
- ・1 回に、20 名程度の募集、年間で、80 名程度が研修を受ける事が出来る

- 4) 衛生・医療材料の提供に関する支援制度

- ・先ず、長崎で医療材料のリストを作成する、本年度はここまで

- 5) 「長崎県国保地域医療薬学会」シンポジストの件

- ・大村のシーハット大村で開催されるので、大村の先生に依頼→調整中

- ・「在宅推進アクションプラン」講習会…4 月の調剤報酬改正に絡め行う予定でしたが、実施できず。

●今後の予定

- ・薬看研修会：6 月 19 日（木） 19：45 開催予定

●検討事項

- ①H26 年度の事業内容の具体的実施事項の検討

②その他

《検討事項》

●H26年度の事業内容

①**基礎講習**：問い合わせで、レセプトや書類作成など在宅の導入部分に関しての質問は多く寄せられている。また、今後実施をしたいとの薬局に対し、必要な講習。フィジカルアセスメントなども含め。

主任：河野 補佐：山下

- ・H23年7月、8月に実施した内容をもう一度行う…1回（1時間30分）で収まれば、1回で
- ・資料は、日薬より「在宅訪問支援マニュアル」を入手
- ・フィジカルアセスメント研修会は、県薬の研修会と同調する…1回

②**緩和講習・無菌講習**：地域医療支援病院が在宅医療に踏み切れば、必ず関わっていく問題でもある。スキルアップが必要。→簡易型クリーンベンチの購入も考慮

主任：中川 補佐：小田村

- ・具体的な内容は

- ①座学：大塚製薬の輸液に関する研修会（6月 or 7月）…1回
- ②実地研修：研修先の候補…共済病院：手順や手続きなど

③**地域医療支援病院（総合・労災・共済・中央）との薬薬連携講習**：在宅医療チームに参加していくための前段階。ニーズの把握と環境整備。

主任：小田村 補佐：中村

- ・抗がん剤の勉強会（6月 or 7月）…1回
- ・本年度も、総合病院薬剤部との連携を行い対応
- ・中央病院（平方先生）も協力のお話あり。連携の形態を考える

④**多職種連携講習**：現在、地域包括支援センター、訪問看護協会だけだが、その他の団体とも交流の場を作っていく。顔の見える薬剤師。

主任：中村 補佐：永崎

- ・訪看との連携を継続
場所が手狭になってきたので、公的施設を検討
- ・8月の薬剤師会の症例募集

⑤**「サポート薬局」体制の研究**：今後、薬局の横の連携が必要となってくる。24時間対応になればなおさらである。班割りや地域割りなども含め考えていく。

主任：永崎 補佐：中川、河野

- ・麻薬小売業者のグループ化の手続きに関して、必要な書類等を収集

●その他

・前々回の話に出ていた、川添哲嗣先生の講演に関しては、県在宅委員会では対応が難しい様。市薬で
お呼びするかどうか、今後も検討。

・各包括支援センターケア会議に参加した場合は、報告を挙げてもらおう。

・山澄地域包括支援センターの活動が活発に行われている。

・6月9日（月）：中央包括支援センターのケア会議にて、講師（中川）依頼

●次回の委員会の予定

6月の勉強会の後

以上